

福井県県境に分布する網目模様をもつモリアオガエル *Rhacophorus arboreus* の報告

梨木 之正*

Records of *Rhacophorus arboreus* with network patterned dorsal skin in the border regions of Fukui Prefecture.

Yukimasa NASHIKI*

(要旨) 2013年6月刈込池(標高1100m)、夜叉ヶ池(標高1099m)、赤池(標高1500m)にて背中に網目状の斑紋が入るモリアオガエルを確認したため報告する。

キーワード：モリアオガエル, 斑紋, 網目

モリアオガエル *Rhacophorus arboreus* (Okada et Kawano, 1924) は本州(茨城県を除く)及び佐渡島に分布する日本固有のカエルであり、背中に暗褐色の斑紋をもつ個体と斑紋がない個体が知られている。斑紋のない個体は東北方面に多いとされているが、これらの分布について十分な調査がなされていないのが現状である(前田ら, 1990)。福井県では斑紋のない個体が広く生息しているが、2013年に福井県内で網目状の斑紋をもつ個体を確認したので下記の通り報告する。

大野市赤兎山赤池(標高1500m)
確認年月日：2013年6月16日
個体数：3

南越前町夜叉ヶ池(標高1099m)
確認年月日：2013年6月24日
個体数：20以上

大野市刈込池(標高1100m)
確認年月日：2013年6月29日
個体数：30以上

今回の調査により福井県には無紋型と網目状の紋を持った型がいることが確認された。また、それぞれの山地の麓には無紋型のモリアオガエルを確認している。確認された場所がすべて標高1000m以上の高い山頂付近の池ないし水辺であること、麓に分布するモリアオガエルが無紋型なことから、福井県のモリアオガエルの紋の有無は標高で分けられていると推察できるが、今回の調査だけでは結論を出す事はできない。今後、同標高帯にある水辺やその裾野、福井県側だけでなく

石川県、岐阜県側での調査を行っていく必要がある。

参考文献

- 前田憲男・松井正文, 1989, 日本カエル図鑑改訂版. 文一総合出版, 136-141.
高木榮一・大谷 勉, 2011, 原色爬虫類両生類検索図鑑. 北隆館, p206.
財団法人福井建設技術公社, 2010, 福井県地質図2010年度版, 福井県,
福井県県民生活部地域振興課, 1988, 土地分類基本調査冠山・横山. 福井県,
福井県県民生活部地域振興課, 1996, 土地分類基本調査越前勝山・白山, 福井県,
ふくい地質景観百選編集委員会, 2009, ふくい地質景観百選, 福井市自然史博物館, 120p.

Records of *Rhacophorus arboreus* with network patterned dorsal skin in the border regions of Fukui prefecture
Yukimasa NASHIKI

Abstract

Individuals of *Rhacophorus arboreus* with network patterned dorsal skin were found in the border regions of Fukui Prefecture (Akaike, Ono City (alt.1500m), Yashagaike, Minamiechizen-cho (alt.1099m), and Karikomiike, Ono City (alt.1100m) respectively) in June, 2013.

Key words : *Rhacophorus arboreus*, network patterned dorsal skin

*福井市自然史博物館, 〒918-8006 福井市足羽上町147

*Fukui city Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui, Fukui, 918-8006 Japan.



図1：網目状の斑紋をもったモリアオガエルの発見地



図2：赤池で発見されたモリアオガエル



図3：刈込池で発見されたモリアオガエル



図4：夜叉ヶ池で発見されたモリアオガエル



図5：福井県に広く分布している無紋のモリアオガエル